

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年度 3 月 31 日

特定非営利活動法人 C.O.N

平成 19 年に C.O.N が発足し丸 10 年が過ぎ、今年には 11 年目を迎えています。当初は尼崎中がノラ猫問題にあふれていて、自治会でノラ猫対策を行うたび、怒鳴り合いになることも珍しくありませんでした。

今、C.O.N へ寄せられる相談は依然多く、3 件 4 件の日もありますが、ノラ猫にまつわる争い事はほとんど無くなり、ノラ猫を増えないように不妊手術したいがどうしたらいいですか？というのが大半です。これが 10 年の活動の成果だと実感しています。

わずか 100 万円しかなかった不妊手術の助成金は、今年度 500 万円になりました。動物愛護基金のおかげで、助成金がすべての人に行き渡るようになったことも、大変大きかったと思います。動物愛護基金条例までの道のりは大変困難なものでしたが、こうして尼崎市の動物愛護事業を大きく支えてくれています。

地域社会における人と猫の問題を生み出す、

本年度の事業の実施状況

① 地域猫対策

自治会からの依頼により地域猫対策説明会を実施した。

② 市民相談

「猫の相談室」のチラシを作成し、広報を強化。譲渡会との同時開催を固定し2ヵ月に一回開催した。電話による市民相談は常設。早期発見、早期対策を図った。

③ 譲渡会事業

あまらぶチャレンジの助成金を受け、6 階の譲渡会を開催し、猫の適正飼養の啓発を積極的に行った。

尼崎サマセミへ参加。ボランティア育成の授業を行った。

④ 動物愛護基金

定期的に動物愛護基金への募金活動を実施した。

FM 尼崎にて動物愛護センター職員と動物愛護基金の PR を行った。FM 西宮にて動物愛護基金の PR を行った

⑤ 高齢者と猫の多頭飼育問題

常設の市民相談電話により、早期発見早期対策につなげた。

⑥ 行政、政治への働きかけ

猫の多頭飼育問題についての福祉部署と動物愛護センターの連携および多頭飼育者への対策を要望した。